

平成27年度 事務事業評価シート

1. 基本情報					
事務事業名	国民健康保険医療費通知事業				
基本目標	やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり				
基本施策	健康づくりの推進				
施策	地域における健康づくりを支援します				
所属名	健康福祉部国保年金課				
事業開始年度	平成24年度	事業終了年度			
新規継続区分	既存	事務事業類型	ソフト事業	実施計画区分	実施計画事業以外
実施主体	市が実施すべき	市補助金等区分	補助金等なし	外部化等改善	その他改善
非実施影響	一定の障害	緊急性	市に有利性	実施時効果	一定の好影響
根拠法令等	該当なし（国・県の指導による）				
事業概要	医療機関で診療等を受けた国保被保険者に対して、年6回の通知発送を実施。通知内容は、受診年月日・受診者氏名・入院通院歯科調剤の別、医療費の額、医療機関名。生活習慣病に関するお薬を処方されている方を対象に年2回後発医薬品（ジェネリック）に切り替えた場合の通知発送を実施。				
事業説明	医療費の適正化の観点から年6回、国保被保険者あてに医療費通知を発送します。年々増加傾向にある医療費通知を送付することにより被保険者に実態をご理解いただくとともに医療機関からの請求ミス防止、医療費の適正化を図ることを目指します。後発医薬品（ジェネリック）差額通知については、患者負担の軽減や国保財政改善の観点から後発医薬品（ジェネリック）の利用促進を進める目的で実施しています。国保被保険者で、生活習慣病に関するお薬を処方されている方で後発医薬品に切り替えた場合、自己負担額が200円以上削減される方を対象に年2回後発医薬品（ジェネリック）差額通知を発送し更なる医療費の適正化を図ることを目指します。				

2. 主な指標の状況							
項目		区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	通知回数	計画値	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
		実績値	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果指標	通知枚数	計画値	31,300.00	8.00	8.00	8.00	8.00
		実績値	30,136.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 平成26年度 事後評価結果 CHECK	
事業の方向性	B：現状のまま継続
これまでの見直し及び改善の経過	医療費通知発送については、発送事務を委託していたがシステム変更に合わせて自庁で行えるよう対応。結果、委託費の削減につながり安価に行えるようになった。平成26年度より更なる医療費適正化のため後発医薬品（ジェネリック）差額通知の発送を開始した。
活動単位の評価	医療費通知については、継続実施することが重要であり今後も実施していきたい。後発医薬品（ジェネリック）差額通知については、今後推移を見守りたい。
見直しが必要な項目	

4. 平成27年度 事中評価結果 CHECK・ACTION 平成28年度 事前評価結果 PLAN	
事業の方向性	B：現状のまま継続
活動単位の選択と集中	医療費の適正化の観点から年6回、国保被保険者あてに医療費通知を発送している。平成26年度から新たに年2回後発医薬品（ジェネリック）差額通知も発送し、更なる医療費の適正化を進めている。医療費適正化の観点から今後も必要である。
具体的な改革・改善の内容・時期・効果	医療費通知については、重複受診及び多受診の方を対象に状況の把握や調剤費の動向を調査すると共に、保健師等による訪問指導や健康相談により医療費の適正化に努める。
活動単位の中長期的な方向性	医療費適正化のため事業は今後も継続するが、医療費の推移を見ながら改善方法、実施時期などを検討する。